



翁木二重吉賞

## 優秀賞（作文の部）

佳作

（語彙の部）  
多田翼哉君  
(作文の部)  
多田翼哉君

第六回 鈴木三重吉賞（中国新聞社主催）に、深小四年生の小林直樹君と多田翼哉君が受賞しました。応募総数は作文二五七三点、詩四一七五点で、そのうち特選は作文、詩の部各七点、優秀賞は各二一点。佳作は作文一八七点、詩二三一点です。

小林・多田両君の受賞を称え、これら作品を紹介します（優秀作品は中国新聞にも掲載）。なお、多田君の作文については紙面の都合により、来月号に掲載する予定です。

（編集室）

☆優秀賞(作文の部)



深小四年  
小林直樹

「ねんじへんせのせわ」

うかほ娘の理由は、五つあります。なぜかと言うと、妹の時、遊がをと、勝手デルにていきに入を

私が頑張っていること

私が今、如水館高校で頑張つ  
ていることは、部活です。私は、  
バレーボール部に入つています。  
部活ではいろいろなことが学  
べます。礼儀や気配りなど沢山  
あります。



中学校とは練習の範囲で、ちがうし、本格的なので辛いところとも沢山ありました。でも今は、家族や友達・先輩がたに助けられてとても充実した毎日を送っています。

部活で、身に付いた礼儀や気配りは、日常でもとても役立つています。例えば、家の手伝いなどで、気がついたらすぐに出来るようになります。ただバーレーが上手くなるだけでなく礼儀や気配りも身につくんだなと感心しました。

部活に入つて分かりました。友達も沢山出来て、みんなで助け合つて部活をしていきます。

これからも、みんなと助け合つて良い成績を残していきたいです。

一もビオラもじつと寒さに耐えている姿はとてもけなげであります。不況の中、私たちもその姿を見習わなければ感じきょうこの頃です。ハウスの中は陽気な春の為の植えつけが始まり、育てています。「春」この一字は夢も期待感も可能性もあらゆる物にこの冬を乗り越えるときつと春には——。という気持ちを持たせてくれます。自然という四季の流れに、すばらしいさに感動しています。

春には、又、新しい花が咲き、楽しみが湧く。目先にとらわれることなく、花を育てて、ゆっくりと、花を眺めるゆとりを持ちたいものです。そんな思いを込めてきょうも作業しています。

みはらし環境会議

中組 安藤 志保

つまるとぞる「んはそんやにをたん。」とでも、ちよつかいを出さずてんのぼう。わえは、んやにをたん。ダそまかも、怒りをおさげているのいででくの氣持ちを分かつて、寝言を言がれません。かつて、お父さんとお母さかる理由は、なのですか。それで、眠がれ

小四年文



卷之三

一ノれいの言葉

「小兄されは、兄いぢやんです」

て深く、も田月山ル ひよ呂い効ツ氣講に・地発環境してその重点プロジェクトを行ふ。地域足し会議で実践組織エクトを実行  
ほ町、い予やかのド一ごう敷き果グな座行にましす。三原市は「かんきょう会議浮城」で昨年十一月に三原市を五つに分けた。それぞれが旧沼田川以北会議が開かれた。三原市を三原市に会議が開かれた。  
し、子安つ定山ら様ワ昨参なをたがにくうずなりました。なしあでて使新もク・く容ツとるにすマ初した。あてたおもいわ年見で昨だもコ思の替す。イの。  
いそど心ましをの子一年加内カいあ切手で、最なしまででて使新もク・く容ツとるにすマ初した。あてたおもいわ年見で昨だもコ思の替す。イの。  
なしもででて使新もク・く容ツとるにすマ初した。あてたおもいわ年見で昨だもコ思の替す。イの。  
あてたおもいわ年見で昨だもコ思の替す。イの。  
！三ちい、ませ度ては年さ考良いかえる普バ企と原がし自然。すで回、のいえくます。いはり深環境つまび食豊かの材かで、いびがであります。た深ま町境塾フイー。  
思のいえくます。いはり深環境塾フイー。  
つまび食豊かの材かで、いびがであります。た深ま町境塾フイー。  
てのいえくます。いはり深環境塾フイー。  
いえくます。いはり深環境塾フイー。  
ます。せぜる。のた田畠フイー。  
ます。せぜる。のた田畠フイー。  
ます。せぜる。のた田畠フイー。

## ピッタリだよ!!

—外の騒ぎにも負けてない



孫達も年玉いらぬ歳となり  
爺婆二人で生き甲斐探さん

かえり  
顧みて平成二十年過ぎし日々  
われも終わりと三度覚悟し  
みたび

かえり  
顧みて平成一十年過ぎし日々  
われも終わりと三度覺悟し  
みたび

行程

月日 二月二日(土)  
雨天順延

上組公民館八時発(車) ↓  
河内町竹林寺(徒步) ↓  
広島空港(車) ↓  
上組公民館帰着 十二時頃

▲▲



歩く会にご参加を

健康づくり推進員 高崎修